

新型コロナウイルス感染症から
「子どもたちの命と学びを守る」共同宣言

これまで、学校と家庭、地域が一丸となって、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの確保に、懸命な努力を重ねてきました。

しかし、今なお感染リスクをゼロにすることは難しく、新年度が始まり、人の移動や交流が活発化するとともに、感染力が強いとされる変異株の流行が懸念される中、一層の警戒が求められています。

幼児、児童生徒、学生とご家族の皆さん、ご自身と大切な人を守ることの大切さを自覚し、「かからない、うつさない」ための主体的な行動をとってください。

教職員、指導者の皆様、新年度になり組織体制も一新した職場も多いと思いますが、ゆるみなく、切れ目なく、感染症対策を徹底するとともに、子どもたちの範となって新しい生活様式を率先してください。

私たち北海道の教育関係機関は、今後とも最新の知見や科学的な情報に基づき、子どもたちの命と学びを守る活動に全力を尽くすことを誓い、次のことに取り組みます。

- 一 学校での感染リスクを回避するため、改めて衛生管理マニュアルに基づき、マスク着用と手指消毒、及び社会的距離、食事と会話等基本ルールの遵守・習慣化を推進します。
- 一 「体調・行動等入力フォーム」の活用など、幼児、児童生徒及び学生、教職員等の日常的な健康観察について、家族を含め注意喚起を行います。
- 一 部活動の大会やコンクール等種目に応じた感染予防ガイドラインに基づき、参加者、応援者の事前の健康観察と、移動時や会場内の対策徹底を図ります。
- 一 修学旅行や帰省・レジャーについては、外出自粛等行動制限が要請されている地域との往来には、特に慎重な検討を行い、事前の健康観察と移動時、宿泊先等での、「3密」回避など安全行動を促します。
- 一 感染症に関する正しい知識や相談窓口の周知など、家庭と連携を図り、幼児、児童生徒及び学生の不安に寄り添った支援と感染者等への差別、偏見等の防止に努めます。